

文章作成講座課題

〈作品を端的に表したキャッチフレーズ〉 40 未満

素材と知恵を、受け継ぐ作品

〈何がしたいか〉 800～1000

今着ている服、いつかは破れたりすり切れたりして、着れなくなってしまいます。その後のことを、考えたことがありますか。

私は、古着をはじめとした「生活の中で不要になった布」を、様々な場所で集め、そこで出会った人と共に、再び使えるものとして蘇らせる作品づくりをしています。技法としては、パッチワークと裂き織りを選択しています。どちらも布をつなぎあわせる技法で、服や敷物など、生活の中で使える形の作品に仕上げています。私の制作形態は、作品を仕上げるだけが目的ではありません。一度は不要といわれた素材を使用し、作ったものを使ったり、作ること自体を様々な人と共に行うことを意識しています。そうすることによって、私の知らなかった、素材を生かす知識を教えてくれる人と出会え、また他の人にその知識を伝えることができたり、出会った人が作品を見て、素材に対する姿勢を見直したりできるからです。

(城田香菜子)